

広島県内中小企業 景況調査結果

建設業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年7月～9月期 実績
平成15年10月～12月期 見通し

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成15年9月5日
 (2) 調査対象期間 平成15年7月～9月期 実績
 平成15年10月～12月期 見通しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金1億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金1千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

3. 調査方法

原則として、商工会(県内14)、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

4. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(上昇、好転、長期化)企業割合と減少(低下、悪化、短期化)企業割合の差を示すものである。

II. 建設業の景気動向

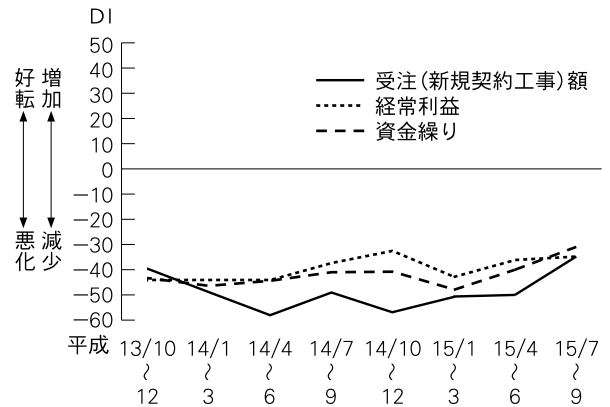
1. 概況(前年同期比)

業況はやや好転。

平成15年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともやや好転した企業が増加、好転している。

【DI値】受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

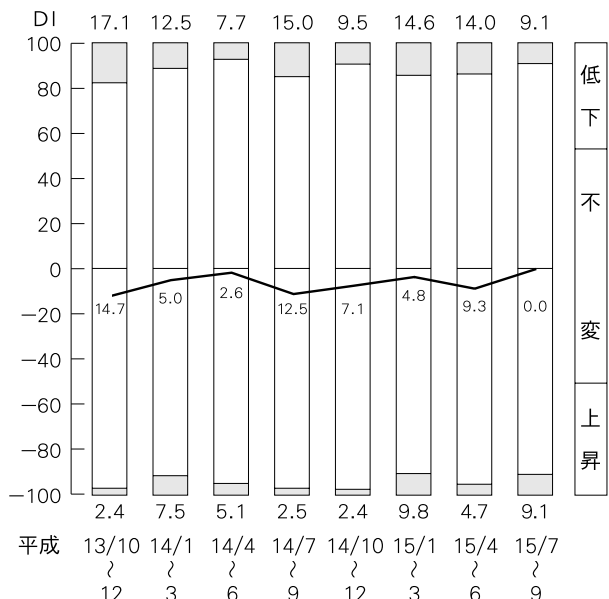
(1) 受注(新規契約工事)額はやや増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の受注(新規契約工事)額の増減状況については、増加した企業が15.9%、減少した企業が50.0%となり、DI値はマイナス34.1となり、前年同期比に比べ増加している。

(2) 材料仕入単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業9.1%、低下した企業9.1%、不変81.8%となっている。

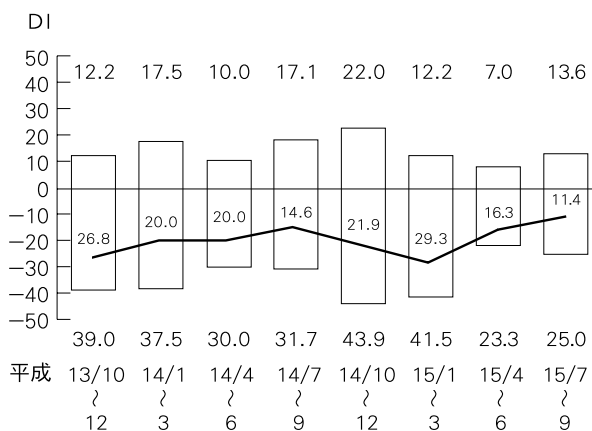
材料仕入単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は増加(今期)

今期の経常利益の状況は、増加13.6%、減少25.0%で、DI値はマイナス11.4となり、前期のDI値マイナス16.3と比較してやや改善されている。

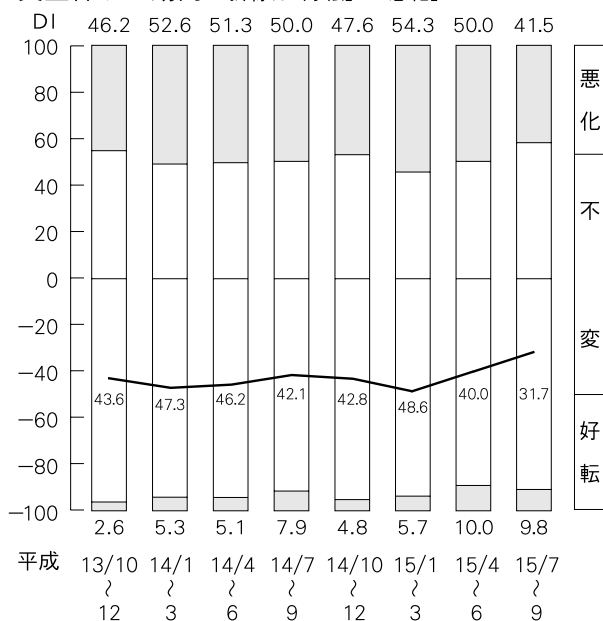
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りはやや好転(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業9.8%、悪化した企業41.5%、DI値はマイナス31.7とマイナスとなっており、前年同期と比べやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 10~12月期の見通し

業況はやや改善

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注(新規契約工事)額、経常利益は減少傾向だが、資金繰り、業況ともに、やや改善傾向を示している。

建設業 主要項目の来期の見通し

項目	7~9月期	10~12月期
受注額		DI -39.6
経常利益		DI -37.2
資金繰り		DI -18.1
業況		DI -32.5

建設 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 7~9月期	官公需要の停滞 (43.6%)	民間需要の停滞 (28.2%)	請負単価の低下 (7.7%)
平成14年 10~12月期	官公需要の停滞 (39.5%)	民間需要の停滞 (23.7%)	請負単価の低下 (18.4%)
平成15年 1~3月期	官公需要の停滞 (41.0%)	民間需要の停滞 (25.6%)	請負単価の低下 (17.9%)
平成15年 4~6月期	官公需要の停滞 (42.9%)	民間需要の停滞 (26.2%)	請負単価の低下・上昇難 (19.0%)
平成15年 7~9月期	官公需要の停滞 (31.6%)	民間需要の停滞 (23.3%)	請負単価の低下・上昇難 (21.1%)

広島県内中小企業景況調査結果

製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年7月～9月期 **実績**
 平成15年10月～12月期 **見通し**

Ⅲ. 製造業の景気動向

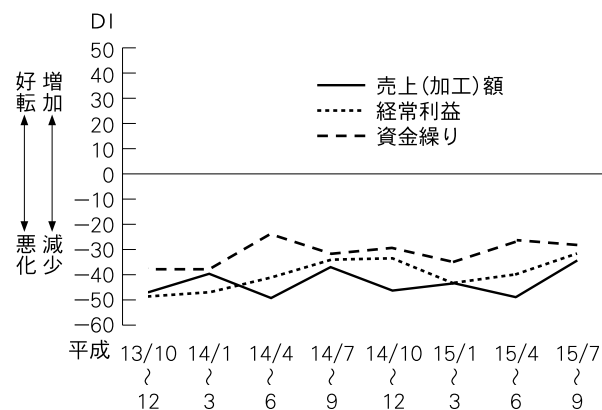
1. 概況(前年同期比)

業況はやや改善。

平成15年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(加工)額、経常利益、ともに上昇しているものの、資金繰りは微減である。全体としては業況はやや改善傾向にある。

【DI値】売上(加工)額、経常利益、資金繰りとともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

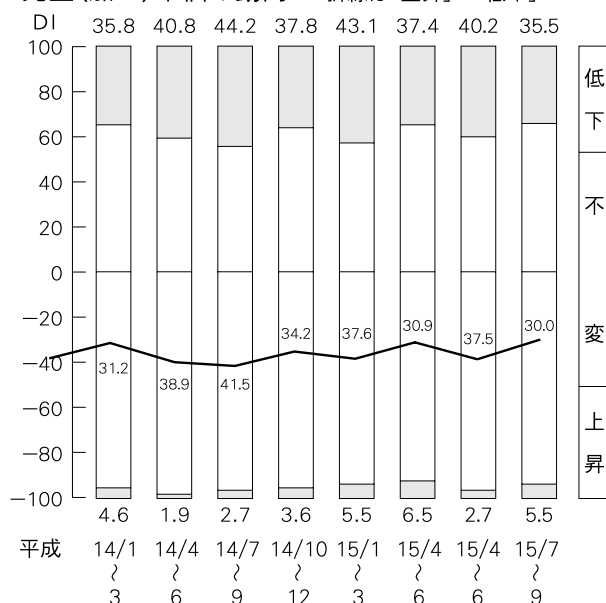
(1) 売上(加工)額はやや好転(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)額の増減状況については、増加した企業が17.4%、減少した企業が52.3%となり、DI値はマイナス34.9%となり、やや好転している。

(2) 売上(加工)単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)単価については、上昇した企業5.5%、低下した企業35.5%、不変59.0%となっている。DI値は11.5ポイント増加している。

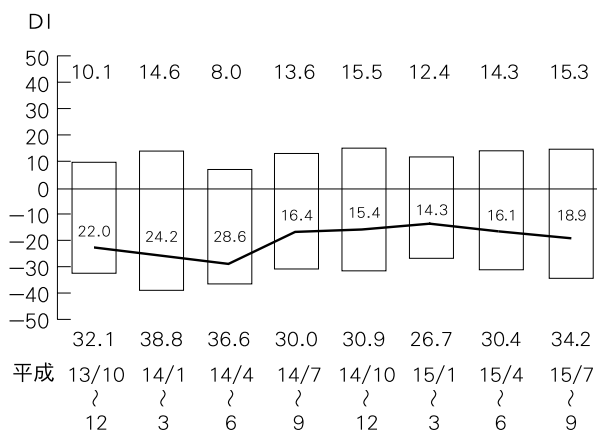
売上(加工)単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益は微減(今期)

今期の経常利益の状況は、増加15.3%、減少34.2%で、DI値はマイナス18.9となり、前期のDI値マイナス16.1と比較して2.8ポイント減少している。

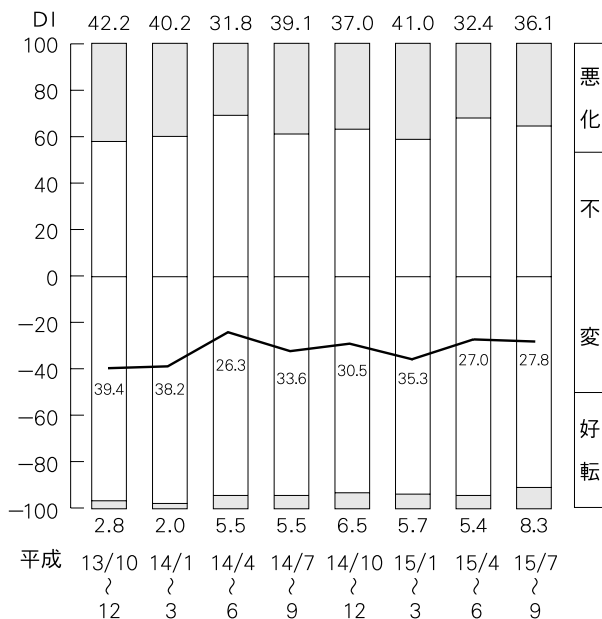
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは微減(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業8.3%、悪化した企業36.1%と低下しており、DI値はマイナス27.8とやや好転傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、経常利益を除く、売上(加工)額、資金繰りともに改善傾向にあり、来期の業況はやや好転との判断を示している。

製造業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI -24.1
経常利益		DI -27.3
資金繰り		DI -21.7
業況		DI -19.8

製造 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (38.9%)	加工単価の低下 (26.9%)	大企業の進出による競争の激化 (8.3%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (43.6%)	加工単価の低下 (21.8%)	大企業の進出による競争の激化 (10.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (35.6%)	加工単価の低下 (25.7%)	製品ニーズの変化への対応 大企業の進出による競争の激化 (7.9%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (44.3%)	加工単価の上昇難 (24.5%)	製品ニーズの変化への対応 (5.7%)
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (35.9%)	加工単価の上昇難 (25.2%)	製品ニーズの変化への対応 (13.6%)

広島県内中小企業景況調査結果

小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年7月～9月期 **実績**
 平成15年10月～12月期 **見通し**

IV. 小売業の景気動向

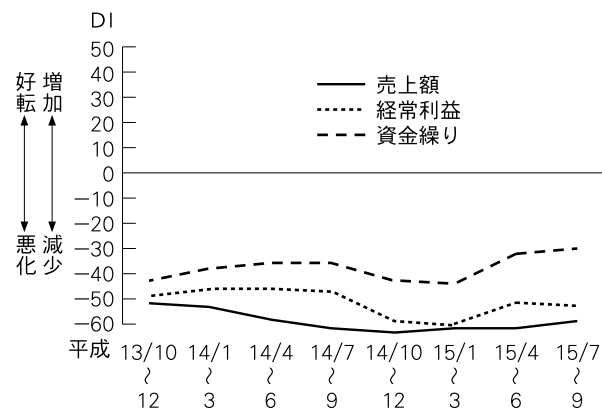
1. 概況(前年同期比)

業況は横這い。

平成15年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べ、資金繰り、売り上げともに横這い傾向で、経常利益は、下降傾向にある。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、全体として下降傾向にあるといえる。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

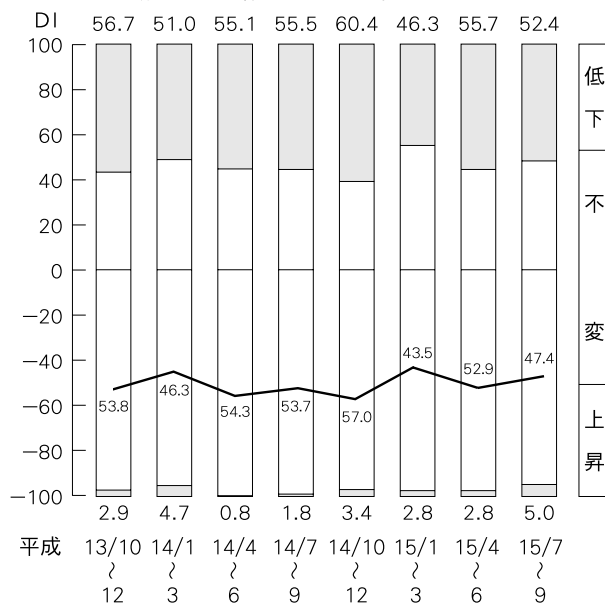
(1) 売上額は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が6.0%、減少した企業が65.0%、DI値はマイナス59.0となっている。

(2) 客単価は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業5.0%、低下した企業52.4%、不変42.6%となっておりやや増加している。

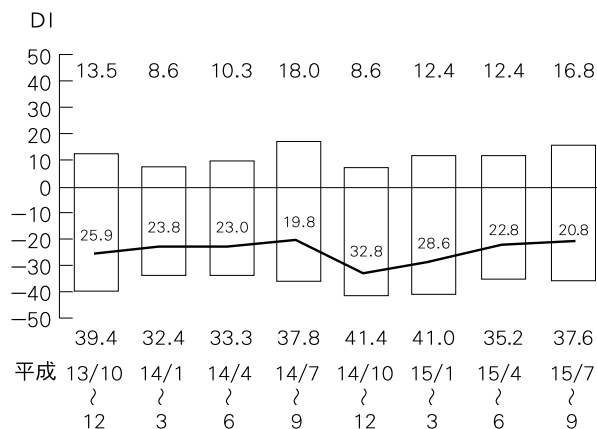
客単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益はやや改善(今期)

今期の経常利益の状況は、増加16.8%、減少37.6%で、DI値はマイナス20.8となり、前期のDI値マイナス22.8と比較して2.0ポイント増加しておりやや改善傾向にある。

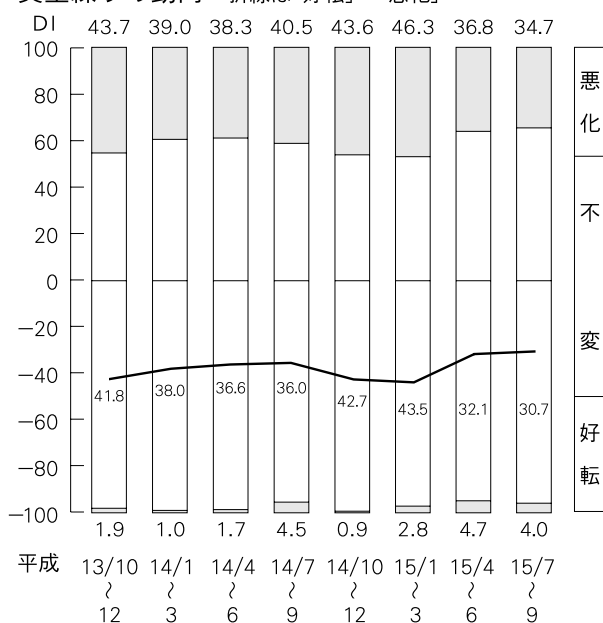
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りはやや改善(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業4.0%、悪化した企業34.7%、DI値はマイナス30.7とやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 10月～12月期の見通し

業況はやや悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、資金繰りともに、やや改善傾向を示しているものの、経常利益は悪化傾向にあり業況は厳しい。

小売業 主要項目の来期の見通し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額		DI
		-49.5
経常利益		DI
		-42.5
資金繰り		DI
		-29.7
業況		DI
		-47.5

小売 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (34.5%)	大・中型店の進出による競争の激化 (18.2%)	購買力の他地域への流出 (15.5%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (32.7%)	大・中型店の進出による競争の激化 (22.1%)	購買力の他地域への流出 (18.6%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (28.4%)	大・中型店の進出による競争の激化 (20.2%)	購買力の他地域への流出 (14.7%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (26.2%)	購買力の他地域への流出 (18.4%)	大・中型店の進出による競争の激化 (17.5%)
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (32.0%)	大・中型店の進出による競争の激化 (17.5%)	販売単価の低下・上昇難 (12.4%)

広島県内中小企業景況調査結果

サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年7月～9月期 **実績**
 平成15年10月～12月期 **見通し**

V. サービス業の景気動向

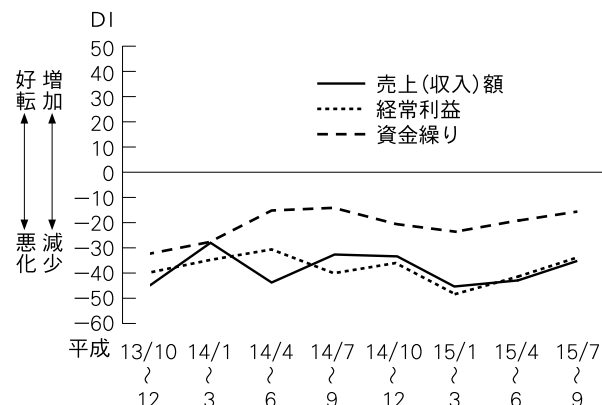
1. 概況(前年同期比)

業況はやや改善。

平成15年7月～9月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上げは微減であるものの、経常利益、資金繰りはやや上昇しており、全体としては改善傾向にある。

【DI値】売上(収入)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 7月～9月期の動向

(1) 売上(収入)額はやや改善(前年同期比)

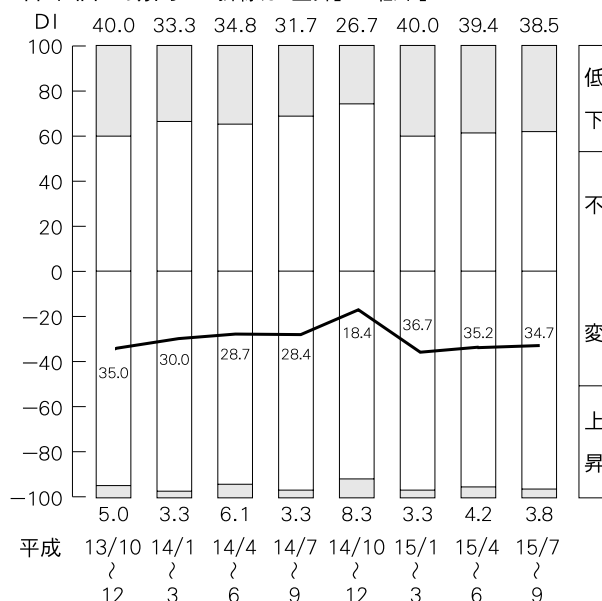
前年同期と比べた今期の売上(収入)額の増減状況については、増加した企業が21.8%、減少した企業が56.4%、DI値はマイナス34.6となっており、やや改善傾向にある。

(2) 客単価はやや悪化(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業3.8%、低下した企業38.5%、不変57.7%となっており、悪化傾向にある。

客単価の動向

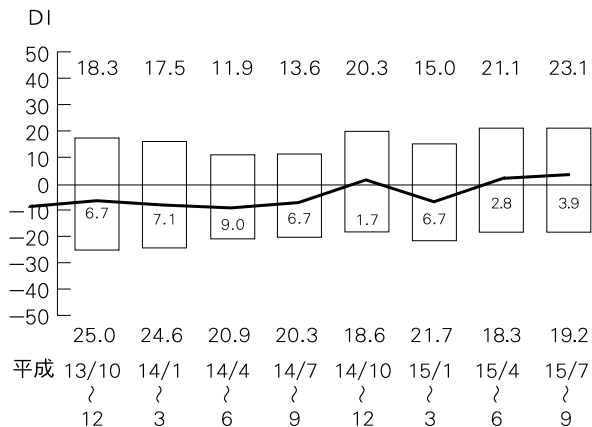
折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益はやや増加(今期)

今期の経常利益の状況は、増加23.1%、減少19.2%で、DI値はプラス3.9となり、前期のDI値プラス2.8と比較して1.1ポイント上昇し、前期同様、今期も好転となった。

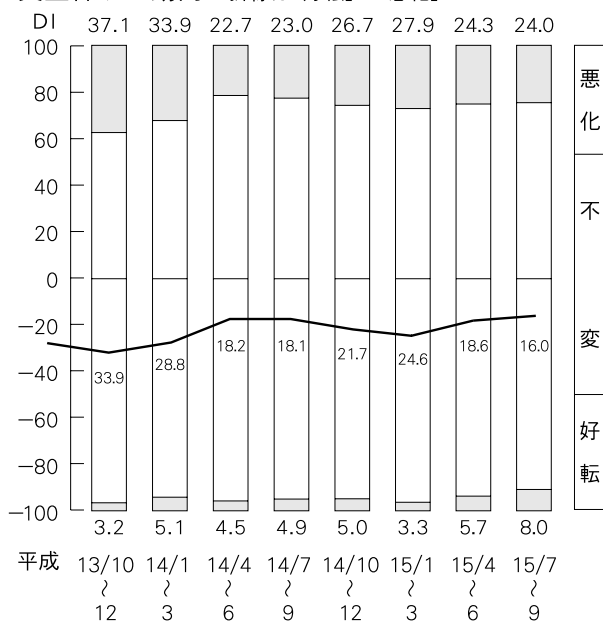
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは微増(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業8.0%、悪化した企業24.0%、DI値はマイナス16.0とマイナスを示しており、増加傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 10月～12月期の見直し

業況は改善傾向

今期と比べた来期の見直しについてみると、経常利益は悪化を示しているものの売上額、資金繰りとも改善を予想する企業が多く、来期の業況も好転傾向を示している。

サービス業 主要項目の来期の見直し

項目	7～9月期	10～12月期
売上額	DI	-26.9
	折線	↑
経常利益	DI	-26.7
	折線	↓
資金繰り	DI	-10.7
	折線	↑
業況	DI	-21.3
	折線	↑

サービス 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 7～9月期	需要の停滞 (33.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (24.6%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.8%)
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (42.9%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.2%)	店舗施設の狭隘・老朽化 (8.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (46.3%)	利用者ニーズの変化への対応 (20.4%)	店舗施設の狭隘・老朽化 新規参入業者への増加 (7.4%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (49.2%)	利用者ニーズの変化への対応 (12.3%)	利用料金の低下・上昇難 (9.2%)
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (41.1%)	利用者ニーズの変化への対応 (23.3%)	利用料金の低下・上昇難 (9.6%)